
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第8週
(2月17日～2月23日)

* 2014年2月26日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成26(2014)年2月27日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年8週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		5週	6週	7週	8週	年累計	8週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	66	59	50	75	430	355	2,930
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢					2	1	11
	腸管出血性大腸菌感染症			1	1	2	6	54
	腸チフス	1		1		4		7
	パラチフス					1		1
四類	E型肝炎			1	1	5	2	17
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	2	1		4	15	54
	エキノコックス症							2
	黄熱							
	オウム病					1		1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3							1
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病					1	2	24
	デング熱		2	2	1	8	3	18
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						3	3	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		5週	6週	7週	8週	年累計	8週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア			1	1	2	2	9
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2		2		17	21	155
	レプトスピラ症							2
ロッキー山紅斑熱								
2014/2/26集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 75件 肺結核 45件、その他の結核 11件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 15件、疑似症 2件、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 12件、30代 9件、40代 8件、50代 9件、60代 11件、70代 11件、80代 10件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 70件、ネパール 1件、中国 1件、南アフリカ 1件、米国又はイギリス又はマレーシア 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者、血清型・毒素型はO157 VT2、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

デング熱 1件 患者、年齢は30代、推定感染地はインドネシアであった。

マラリア 1件 患者、年齢は30代、病型は熱帯熱、推定感染地はウガンダであった。

※ 第7週該当分として〔四類〕E型肝炎 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年8週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		5週	6週	7週	8週	年累計	8週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	1	6	3	3	21	10	125
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)			2		6	2	31
	急性脳炎 *1	2	2	1	1	8	2	85
	クリプトスポリジウム症			1		3		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		1	3	18
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1		9	3	36
	後天性免疫不全症候群	5	5	8	13	66	15	178
	ジアルジア症			2		2		6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2	1				4	1	30
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2					1		7
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2		7	5	2	36	20	285
	先天性風しん症候群					2		6
	梅毒	9	8	6	4	57	16	169
	破傷風		1			3	1	11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			1		6
	風しん	1	1	1	5	17	12	75
麻しん	4	2	1	1	10	12	119	
2014/2/26集計								

*1 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びびリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管 3件、年齢は40代 1件、50代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 1件、その他(不明) 2件であった。

急性脳炎 1件 病原体は不明、年齢は10歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

後天性免疫不全症候群 13件 AIDS 2件、無症候キャリア 10件、その他 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 4件、30代 4件、40代 3件、推定感染地は国内 10件、インドネシア 1件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 13件(同性間 8件、異性間 5件)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 血清型は未実施 2件、年齢は5歳未満 1件、10歳未満 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、その他(不明) 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は7価1回目から3回目まで接種済み 1件、接種なし 1件であった。

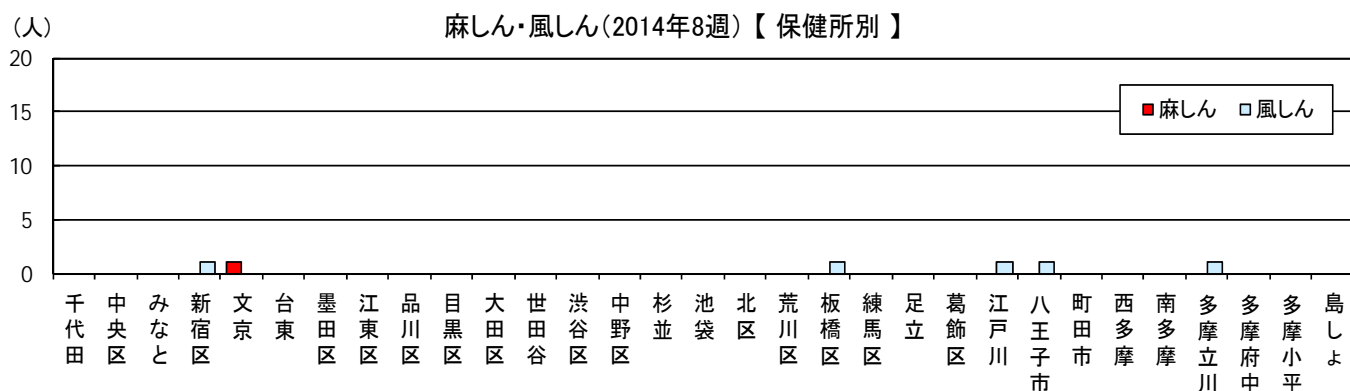
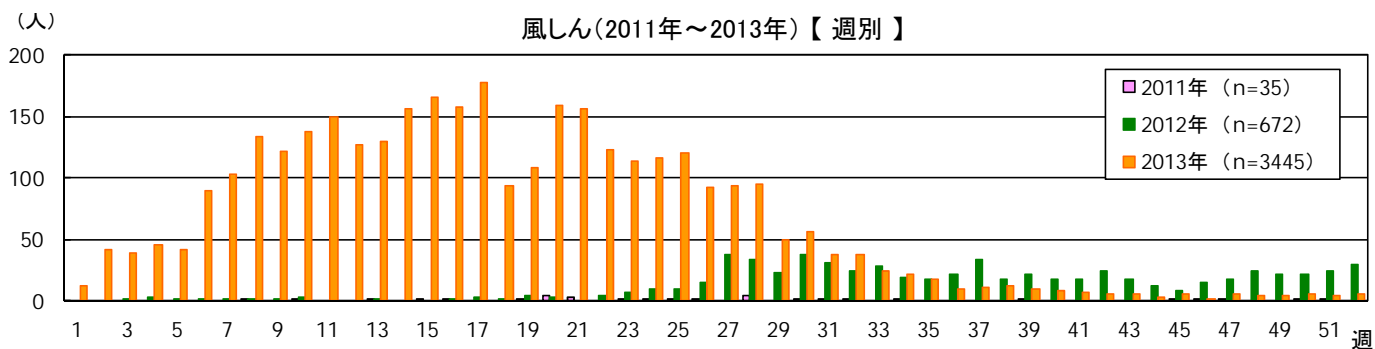
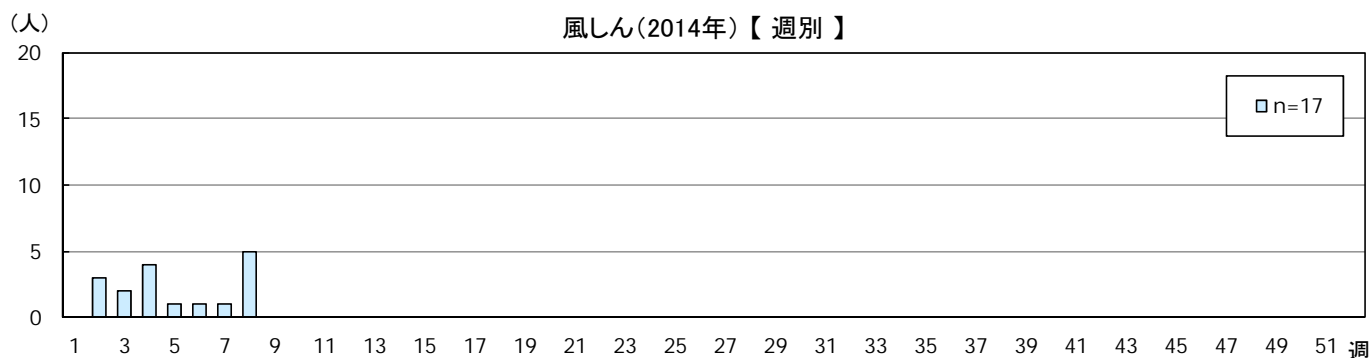
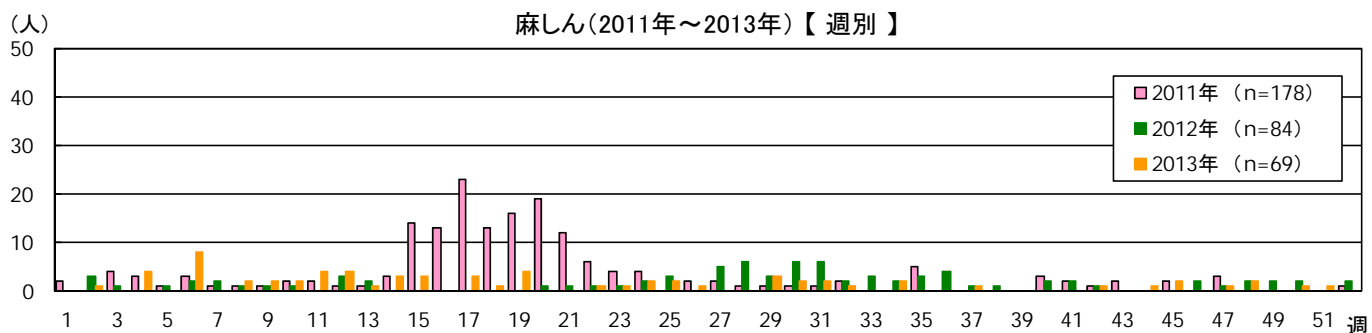
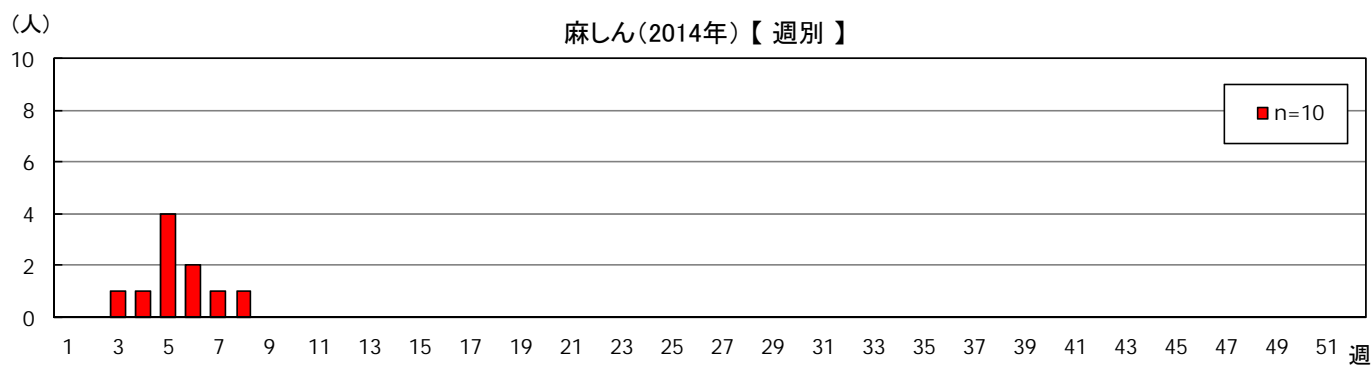
梅毒 4件 無症状病原体保有者 4件、年齢は20代 1件、40代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 2件、性別不明 2件)であった。

風しん 5件 検査診断例 4件、臨床診断例 1件、年齢は5歳未満 3件、10歳未満 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、その他(不明) 3件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 2件、2回接種 1件、接種なし 1件、不明 1件であった。

麻しん 1件 検査診断例(遺伝子検査陽性:B3型)、年齢は10歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)、麻しん含有ワクチン接種歴は接種なしであった。

※ 第7週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件(死亡事例、年齢70代、ワクチン接種歴なし)の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年8週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		5週	6週	7週	8週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	77	81	38	39	0.15	263	264
	咽頭結膜熱	78	91	40	34	0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	550	437	374	541	2.06		
	感染性胃腸炎	2,777	2,097	1,353	1,528	5.81		
	水痘	201	192	184	192	0.73		
	手足口病	20	12	16	9	0.03		
	伝染性紅斑	73	50	29	59	0.22		
	突発性発しん	121	100	78	123	0.47		
	百日咳	2		6	2	0.01		
	ヘルパンギーナ		1	4	3	0.01		
	流行性耳下腺炎	36	22	34	33	0.13		
	川崎病 *1	3	5	2	3	0.01		
不明発しん症 *1	23	24	10	19	0.07			
インフルエンザ	インフルエンザ *2	17,091	14,292	11,743	11,911	28.50	418	419
眼科	急性出血性結膜炎						37	39
	流行性角結膜炎	20	20	11	11	0.30		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1	2				25	25
	無菌性髄膜炎	1	1	3				
	マイコプラズマ肺炎	3	2	4	3	0.12		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	1	1	1	0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	3	6	2	2	0.08		
	インフルエンザ入院	83	58	38	41	1.64		
2014/2/26集計								

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

・インフルエンザの定点当たり報告数は微増し、警報状態が続いている。また、同様にインフルエンザ入院も増加に転じた。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

みなと

・感染性胃腸炎23名中、ロタウイルス 10名(ワクチン接種済 1名、未接種 9名)

墨田区

・流行性耳下腺炎の3名は同じ小学校です。

世田谷

・アデノウイルス 4名
 ・マイコプラズマ 6歳児 1名
 ・ロタウイルス 9か月児 1名

荒川区

・アデノウイルス咽頭炎 1名、ヒトメタニューモウイルス 1名
 ・病原性大腸菌 O25 2名

板橋区

・ロタウイルス 1名(ワクチン未接種)

葛飾区

・アデノウイルス扁桃炎 1歳児 1名

八王子市

・ロタウイルス胃腸炎 11か月児、アデノウイルス胃腸炎 1歳児 各1名
 ・アデノウイルス腸炎 4歳児 2名

多摩小平

・病原性大腸菌、ヒトメタニューモウイルス 各2名

※「インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント」は15ページに記載

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年8週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	8		1	10	4						
6～11か月	12	2		50	6		1	44	1		
1歳	12	11	13	152	21	3	6	67		1	1
2歳	5	3	17	123	28	2	3	10			3
3歳	1	7	35	113	35	1	7	1			1
4歳		4	65	126	35		16	1			4
5歳			77	119	24	2	10				2
6歳		2	82	102	18		4				3
7歳		1	53	83	9		5				7
8歳		1	55	84	5		1				4
9歳		1	43	56	3		2				4
10～14歳	1		76	212	3		2				3
15～19歳		1	3	54			2				
20～29歳		1	21	244	1	1			1	2	1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	39	34	541	1,528	192	9	59	123	2	3	33
先週比	1	-6	167	175	8	-7	30	45	-4	-1	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		2	29								1
6～11か月		3	82								1
1歳	1	8	283		2					1	2
2歳		2	367								2
3歳		2	470								
4歳			670							1	3
5歳	2	1	847								4
6歳			926								1
7歳			1,135					1			2
8歳			1,011					1			1
9歳			834								3
10～14歳		1	2,493					1			4
15～19歳			402								1
20～29歳			400		1						
30～39歳			690		2						
40～49歳			707		2						1
50～59歳			293		1				1		1
60～69歳			192		2						4
70～79歳			59		1						4
80歳以上			21								6
合計	3	19	11,911		11			3	1	2	41
先週比	1	9	168				-3	-1			3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年8週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	0.33		0.33	2.33	0.33			0.33			
中央区			1.33	2.33	0.67						
みなと	0.50	0.33	0.50	7.33	1.00			0.67			
新宿区	0.38		1.75	4.38	0.38						
文京	0.50	0.25	0.50	1.50				0.75			
台東	0.25		2.75	5.50	0.75			1.25			
墨田区	0.40		1.20	4.20	1.40		0.60	0.20			0.60
江東区	0.44	0.33	2.11	11.56	0.56	0.33	0.11	0.44			0.33
品川区	0.25		1.13	5.88	0.38	0.13		0.63			0.25
目黒区			0.20	1.60	0.40		0.60				
大田区	0.08	0.23	3.15	8.85	0.54		1.08	0.69	0.08		
世田谷	0.19	0.44	2.25	6.69	1.44		0.63	0.63			0.06
渋谷区	0.25		0.25	4.00	0.25	0.75	0.25				
中野区	0.14	0.14	1.29	7.29	0.86		0.29	0.86			
杉並	0.10	0.30	0.60	5.50	0.60		0.10	0.60			0.20
池袋			1.20	4.60	1.20			0.60			0.40
北区	0.14	0.29	0.57	3.86	1.43		0.43				0.14
荒川区	0.75		2.50	1.50	0.50		0.25	1.50			0.25
板橋区			0.40	3.00	0.60		0.10	0.40			
練馬区	0.08	0.25	2.42	5.75	0.33		0.08	0.33	0.08		0.42
足立	0.15		0.69	8.00	1.31		0.15	0.23			0.08
葛飾区		0.25	0.88	3.00	0.38		0.25	0.38			
江戸川	0.08	0.08	6.92	5.92	1.00		0.17	0.42			0.08
八王子市	0.09		4.36	9.45	0.36		0.27	0.55			0.18
町田市			6.88	10.25	1.00		0.13	0.50			0.13
西多摩		0.13	2.00	2.38	0.88			0.13			0.25
南多摩	0.11	0.11	1.56	5.78	1.22	0.11		0.67		0.22	0.11
多摩立川			2.79	6.07	0.43		0.07	0.14			0.21
多摩府中	0.05		1.19	5.86	0.62			0.38		0.05	0.05
多摩小平	0.20	0.27	1.87	4.27	0.53		0.47	0.93			0.07
島しょ			1.00			1.00					
東京都	0.15	0.13	2.06	5.81	0.73	0.03	0.22	0.47	0.01	0.01	0.13

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田			11.75							0.50	1.50
中央区			17.20								
みなと	0.17		22.78								2.00
新宿区			16.42					1.00			1.50
文京			19.57		1.00						2.00
台東			23.29								
墨田区			25.13		1.00						7.00
江東区		0.33	34.00								
品川区			20.58								
目黒区			12.38								
大田区	0.15		25.10		0.50						
世田谷		0.31	30.36							0.50	2.00
渋谷区		1.00	10.86		3.00						4.00
中野区			14.27								
杉並			26.44								
池袋			22.00		1.00						3.00
北区		0.14	20.00								
荒川区			48.29								
板橋区		0.10	17.56								2.00
練馬区			27.90								
足立		0.15	31.35		0.50						
葛飾区		0.13	33.23					1.00	1.00		1.00
江戸川			28.26								
八王子市			41.72		0.50						
町田市		0.25	46.54								
西多摩			22.64								1.00
南多摩			40.93								
多摩立川			30.81								
多摩府中			32.55		0.33						0.67
多摩小平			39.78		0.50						3.50
島しょ			30.00								
東京都	0.01	0.07	28.50		0.30			0.12	0.04	0.08	1.64

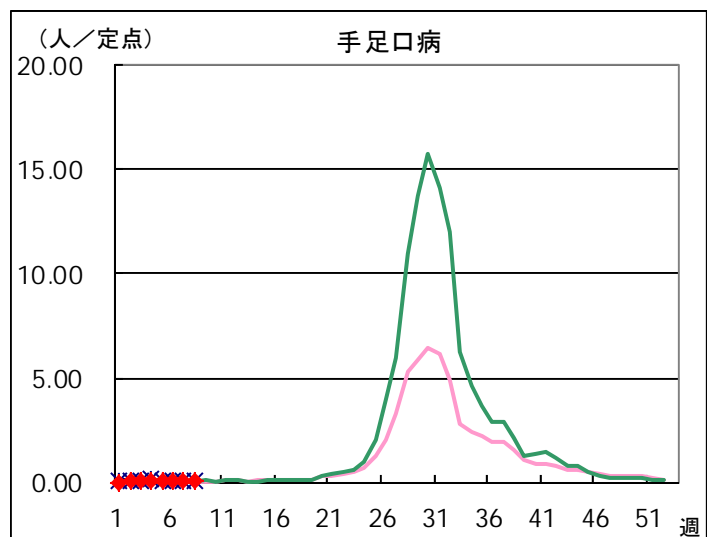
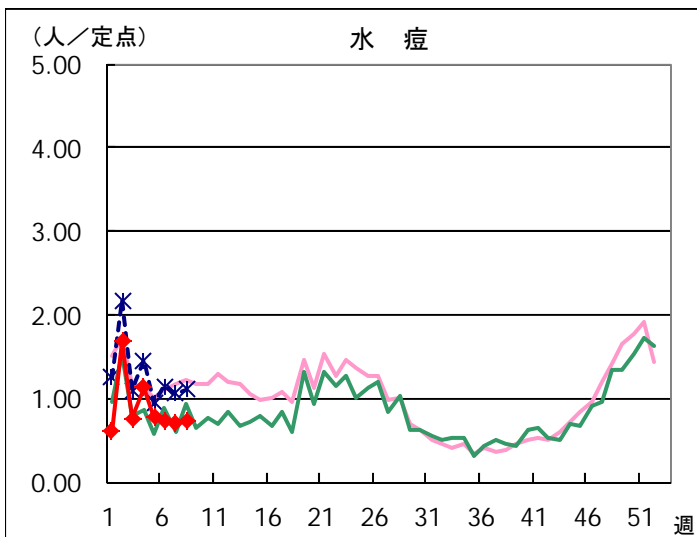
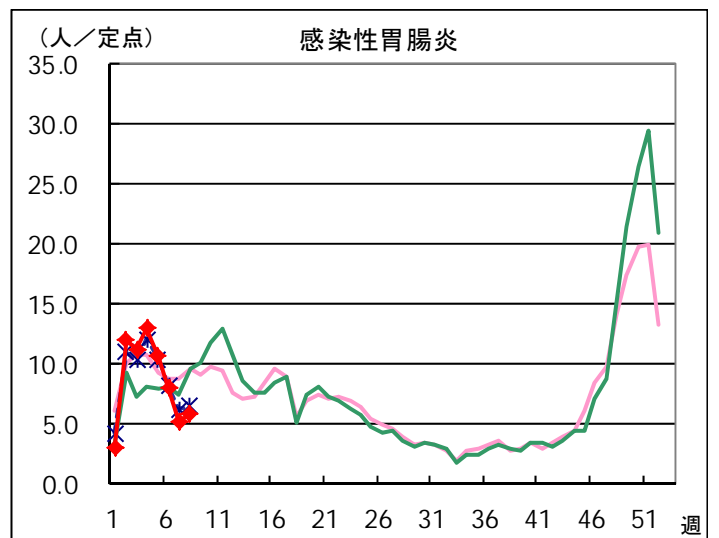
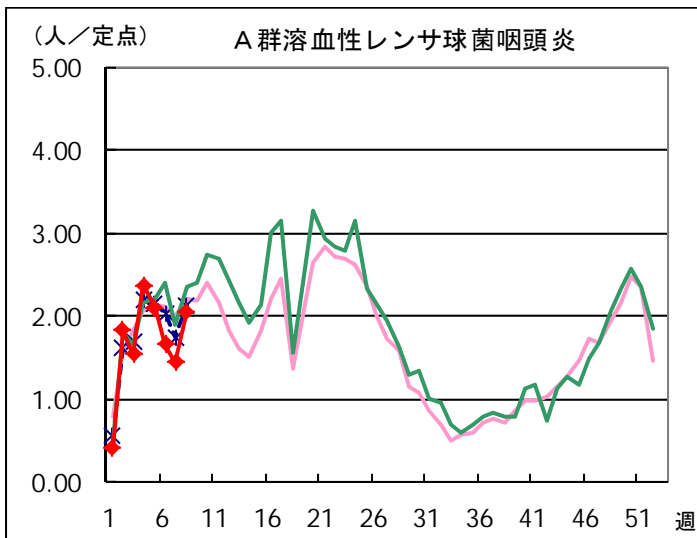
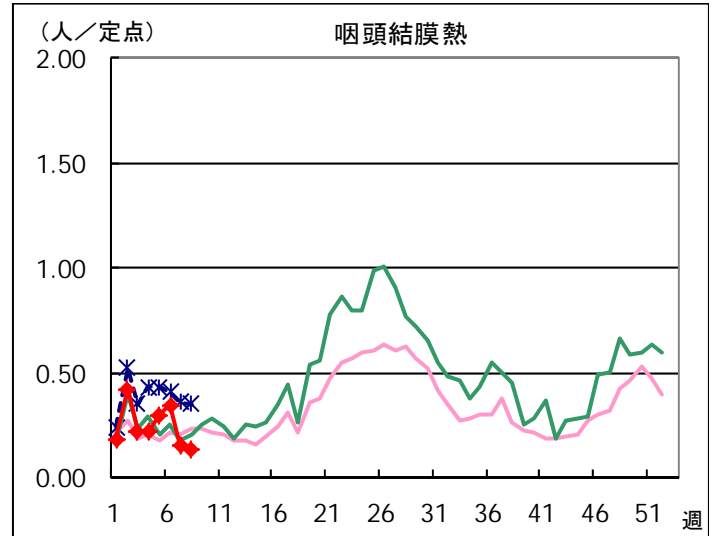
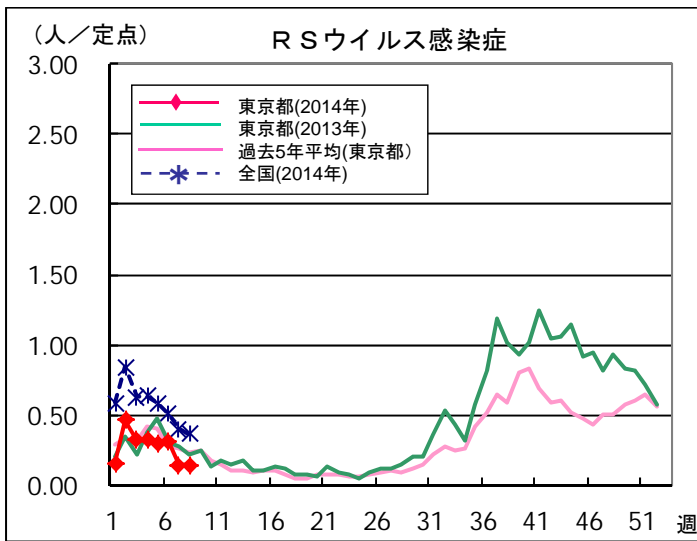
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年8週

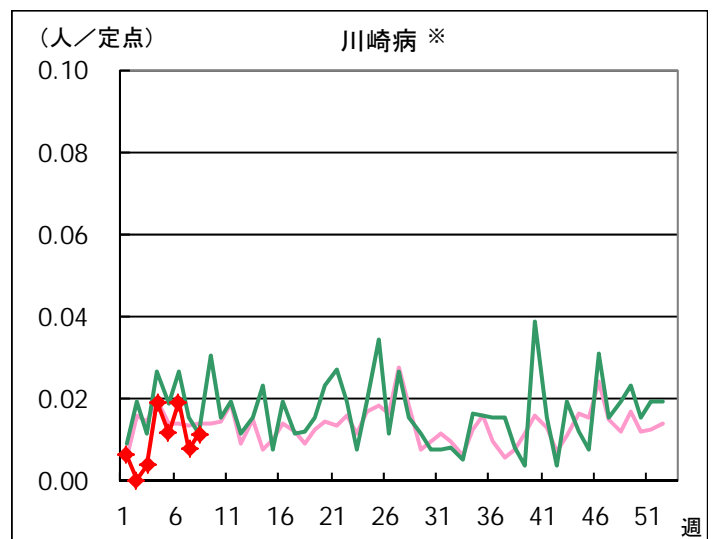
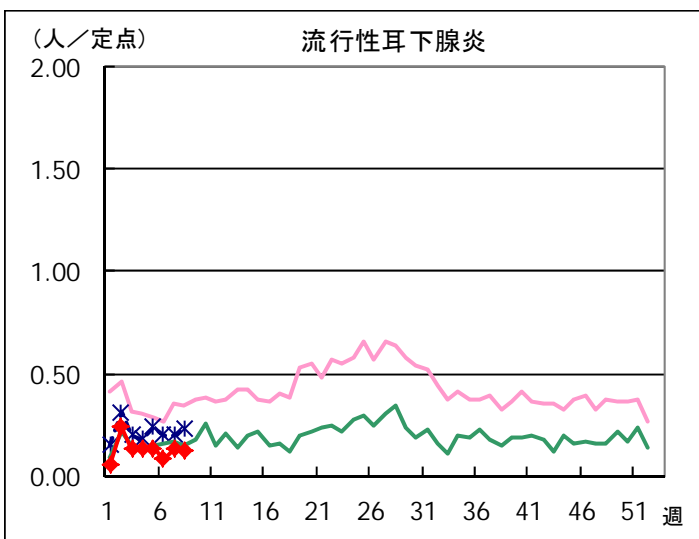
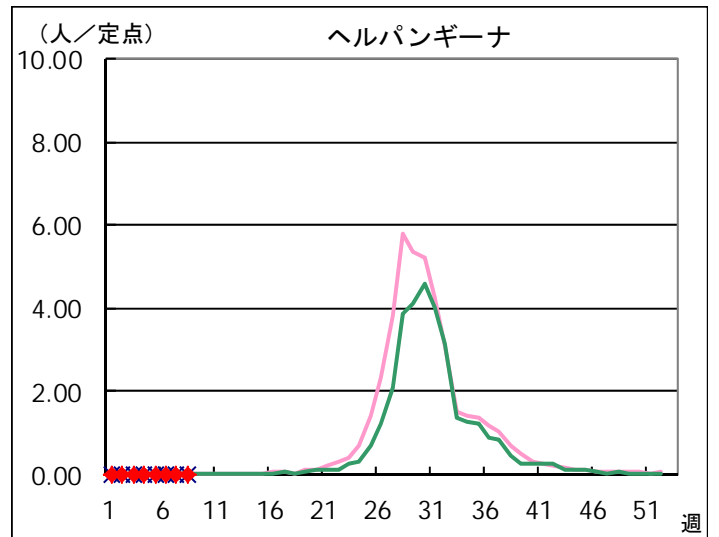
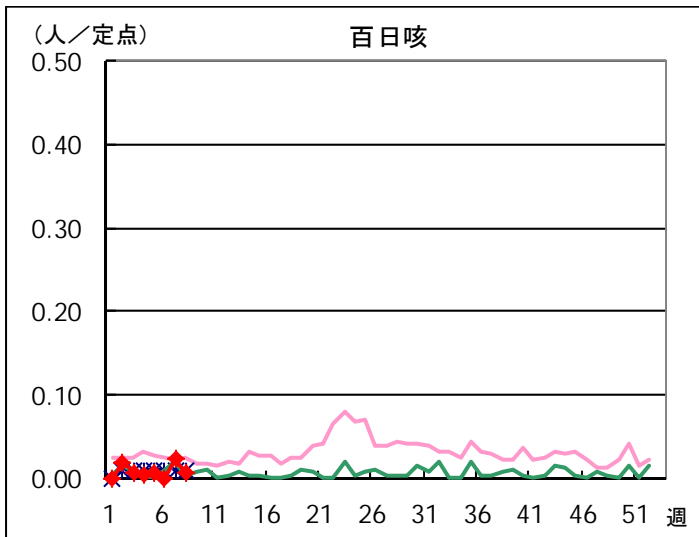
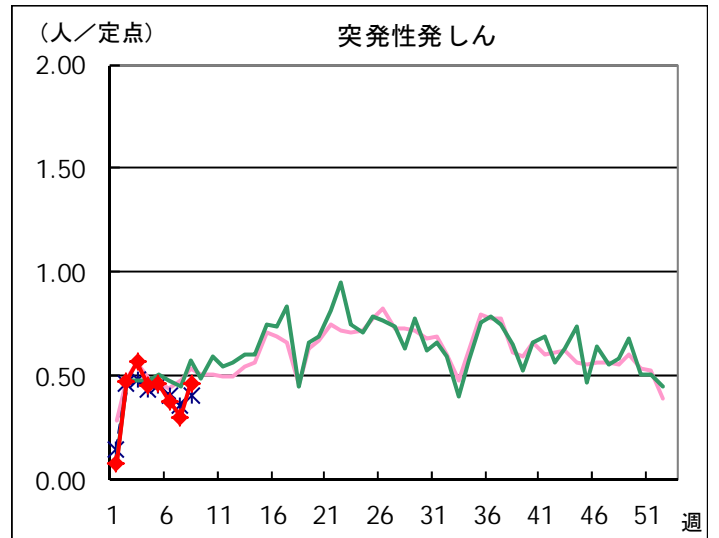
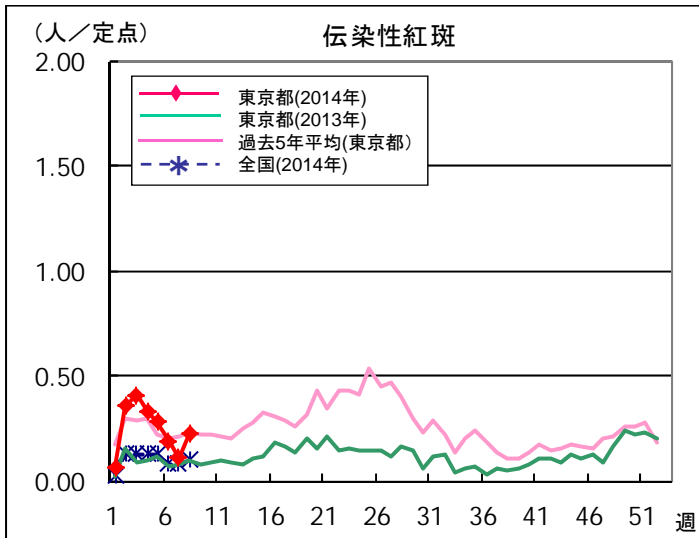
定点種別	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	1		1	7	1			1			
中央区			4	7	2						
みなと	3	2	3	44	6			4			
新宿区	3		14	35	3						
文京	2	1	2	6				3			
台東	1		11	22	3			5			
墨田区	2		6	21	7		3	1			3
江東区	4	3	19	104	5	3	1	4			3
品川区	2		9	47	3	1		5			2
目黒区			1	8	2		3				
大田区	1	3	41	115	7		14	9	1		
世田谷	3	7	36	107	23		10	10			1
渋谷区	1		1	16	1	3	1				
中野区	1	1	9	51	6		2	6			
杉並	1	3	6	55	6		1	6			2
池袋			6	23	6			3			2
北区	1	2	4	27	10		3				1
荒川区	3		10	6	2		1	6			1
板橋区			4	30	6		1	4			
練馬区	1	3	29	69	4		1	4	1		5
足立	2		9	104	17		2	3			1
葛飾区		2	7	24	3		2	3			
江戸川	1	1	83	71	12		2	5			1
八王子市	1		48	104	4		3	6			2
町田市			55	82	8		1	4			1
西多摩		1	16	19	7			1			2
南多摩	1	1	14	52	11	1		6		2	1
多摩立川			39	85	6		1	2			3
多摩府中	1		25	123	13			8		1	1
多摩小平	3	4	28	64	8		7	14			1
島しょ			1			1					
東京都合計	39	34	541	1,528	192	9	59	123	2	3	33

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			47							1	3
中央区			86								
みなと	1		205								2
新宿区			197					2			3
文京			137		1						2
台東			163								
墨田区			201		1						7
江東区		3	476								
品川区			247								
目黒区			99								
大田区	2		527		1						
世田谷		5	759							1	4
渋谷区		4	76		3						4
中野区			157								
杉並			423								
池袋			176		1						3
北区		1	220								
荒川区			338								
板橋区		1	281								2
練馬区			558								
足立		2	627		1						
葛飾区		1	432					1	1		1
江戸川			537								
八王子市			751		1						
町田市		2	605								
西多摩			317								1
南多摩			573								
多摩立川			647								
多摩府中			1074		1						2
多摩小平			915		1						7
島しょ			60								
東京都合計	3	19	11,911		11			3	1	2	41

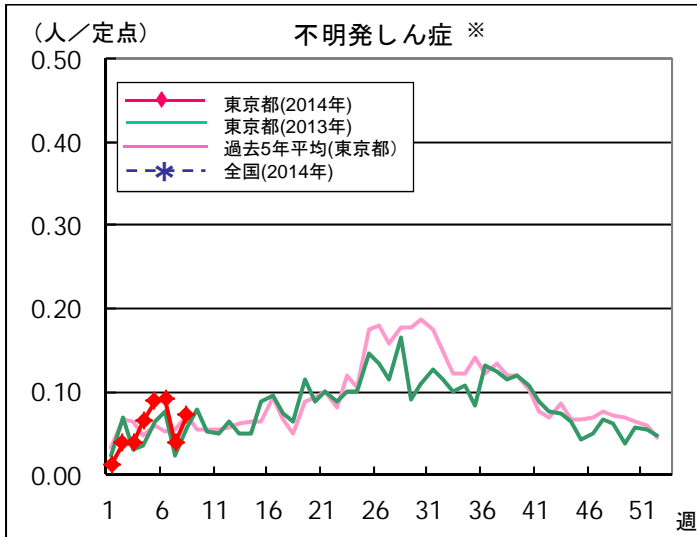
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年8週 現在)

◆ 小児科定点



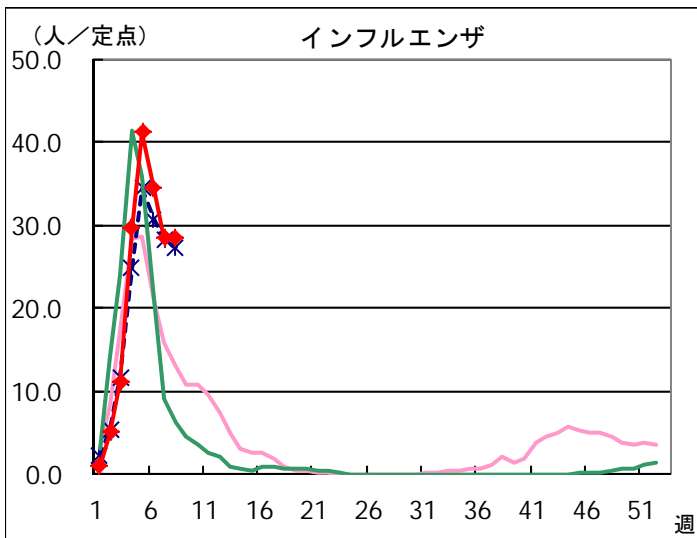


※ 東京都独自対象疾患

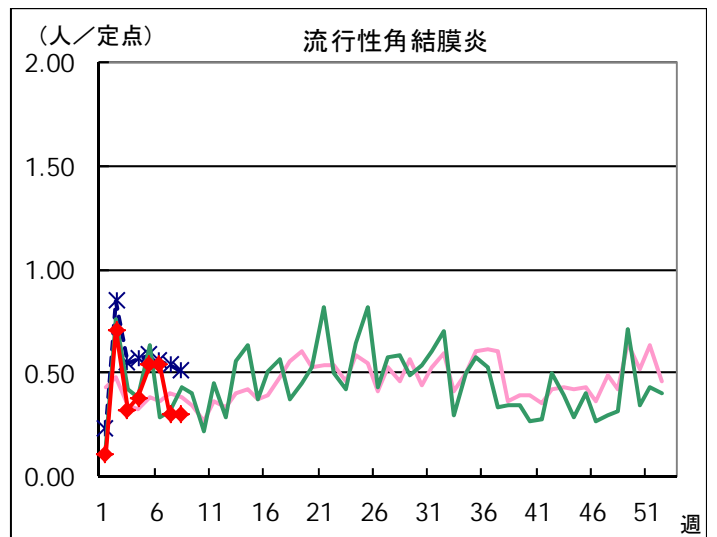
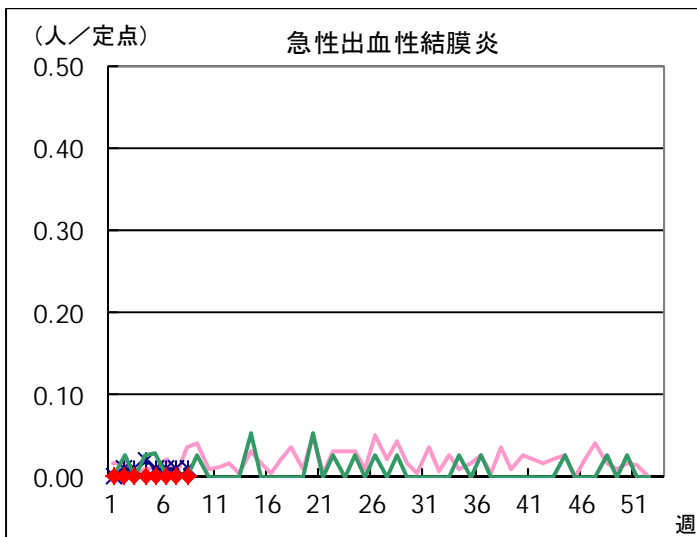


※ 東京都独自対象疾患

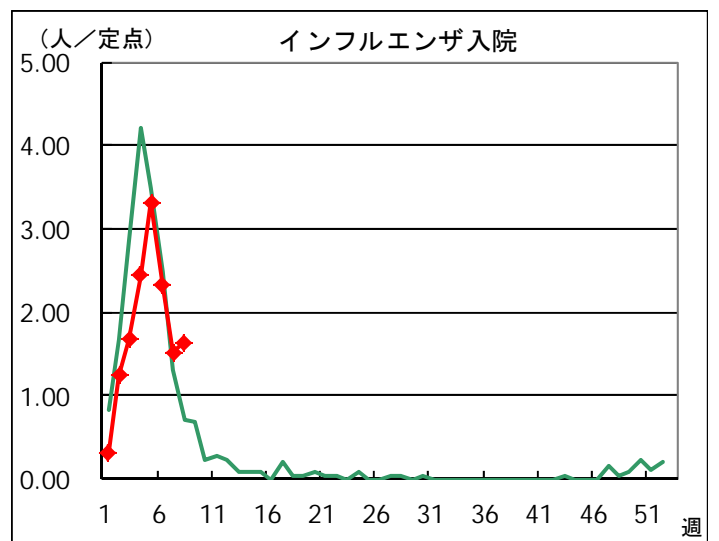
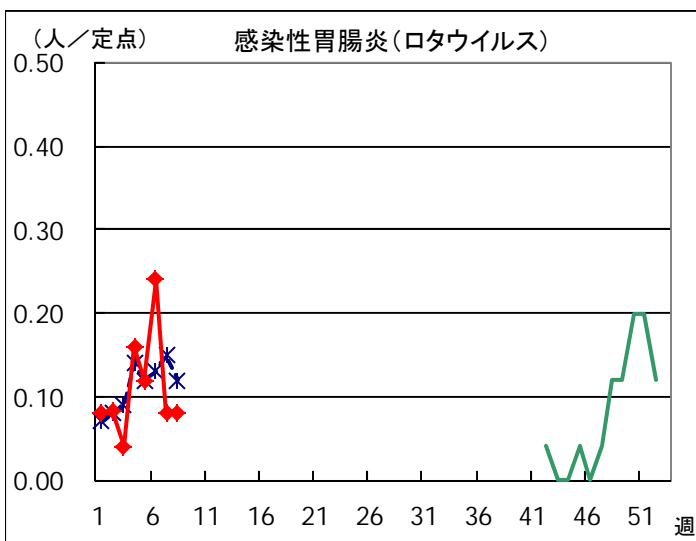
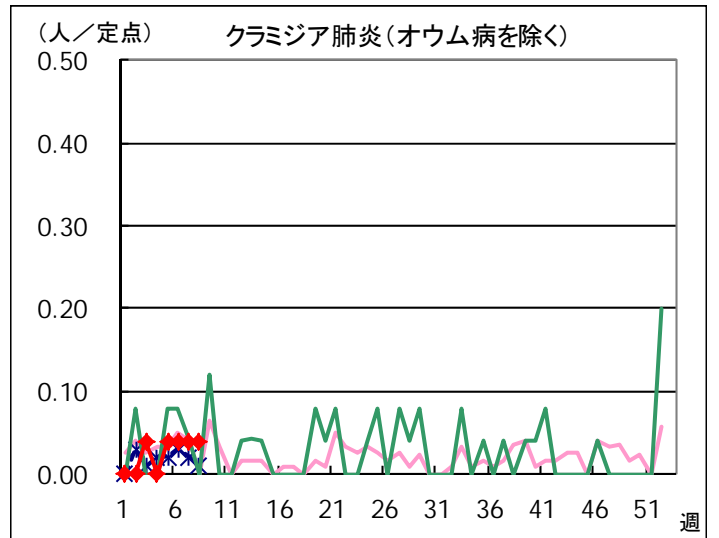
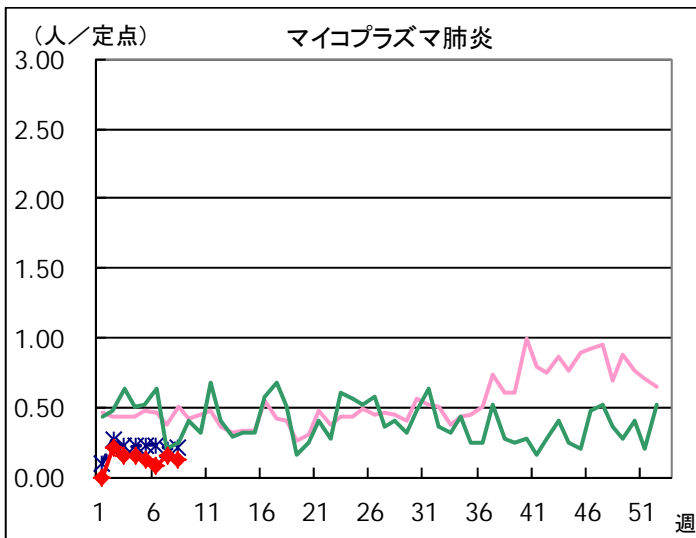
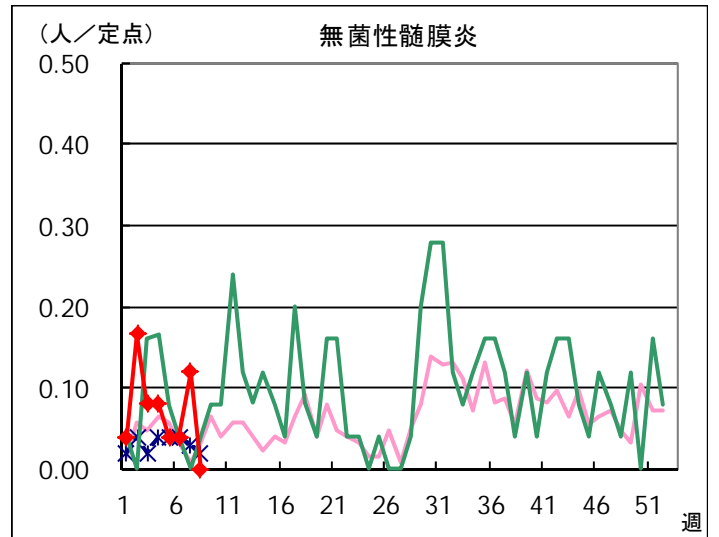
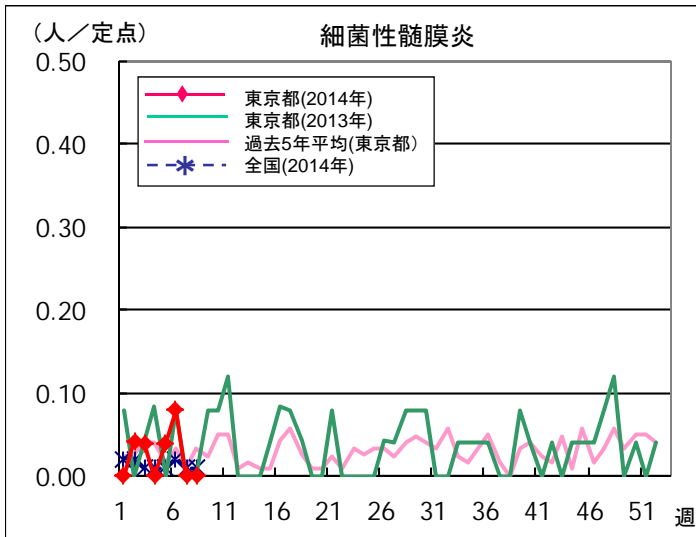
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント

管轄保健所	インフルエンザ 迅速診断結果			医療 *1 機関数	コメント
	A型 *2	B型	記載なし		
千代田	3	16		1	
みなと	31	98		5	・AH1pdm09型 8名
新宿区	15	23		4	・AH1pdm09型 1名 ・AH1pdm09型 3名
文京	15	70		4	
台東	22	54		4	
墨田区	68	124	5	8	・臨床診断 4名
江東区	108	292	10	11	
品川区	42	145	7	8	
目黒区	39	52	10	7	・AB同時感染 2名
大田区	54	124	21	10	・「A型6名、B型14名」の内、予防接種済14名、未接種6名でした。 今週は、「B型」がリードしていましたが、「A型」も数名出て来ています。
世田谷	61	247	62	12	・AH1pdm09型 2名 ・春先はB型中心という、毎年のパターンになってきました。
渋谷区	13	37	2	4	
中野区	52	105		11	・AB同時感染 1名 ・臨床診断 1名
杉並	32	59	6	4	
池袋	4	20	47	3	・インフルエンザはB型が中心となりました。
北区	23	98	9	5	・インフルエンザは終息への印象、週の中頃より明らかに減少。
荒川区	38	204	14	5	
板橋区		3		1	
練馬区	64	137		9	
葛飾区	71	296	3	11	・AH1pdm09型 7名 ・臨床診断 6名
江戸川	66	61	2	5	
八王子市	114	583	13	15	・AB同時感染 1名 ・臨床診断 8名
西多摩	58	170		9	
南多摩	74	412	25	12	・AH1pdm09型 3名 ・AB同時感染 1名
多摩立川	24	70	5	3	
多摩府中	57	200	53	11	・AB同時感染 1名
多摩小平	94	327	67	11	
島しょ	40	11		1	
総計	1,282	4,038	361	194	

*1 迅速診断結果の報告があった医療機関数

2014/2/26集計

*2 AH1pdm09型を含む

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/13	蛋白漏出性胃腸症	3M	糞便	アデノウイルス	遺伝子
2/10	感染性胃腸炎	2	糞便	A群ロタウイルス	抗原
2/13	発熱	9	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
2/7	インフルエンザ	35	咽頭拭い液	ライノウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
7週	9		1	7
2013-2014年 シーズン累計**	125		40	63

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2013-2014シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年	2014年						
		52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週
ウイルス	アデノウイルス	2		6	4			2	2
	ライノウイルス	3		1		3	2	4	1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71	2		1	1				
	その他のエンテロウイルス				1			1	
	単純ヘルペスウイルス			1		1	4		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	1		5	2	4	1	1	
	EBウイルス	1			2			1	
	サイトメガロウイルス					1			
	ムンプスウイルス						1		
	麻疹ウイルス						1		
	風疹ウイルス						2	2	
	パルボウイルスB19			1	1	1	2		
	RSウイルス	1		1	5	2	1		
	ノロウイルス	2		6		4	1	1	
	ロタウイルス								1
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3	5		6	3	5	7	7	1
インフルエンザウイルスB	1		4	8	13	8	15	7	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	4		7	15	26	26	33	9	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス									
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年52週～2014年7週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		227	17	19	20	17	5		2		4	7	13	2	4			40	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		4	1			2		1				3					5	
	ライノウイルス	3	1	3	1						1		1		1			3	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71		2	1							1								
	その他のエンテロウイルス	1				1													
	単純ヘルペスウイルス		3																3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7										2		3						9
	EBウイルス			1									1						2
	サイトメガロウイルス																		1
	ムンプスウイルス													1					
	麻疹ウイルス													1					
	風しんウイルス													4					
	パルボウイルスB19												4	1					
	RSウイルス		2	6															2
	ノロウイルス				14														
	ロタウイルス				1														
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	33														1				
インフルエンザウイルスB	53		1			1												1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	117		2															1	
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス																			
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			